

---

## リリースノート: f ファミリ SP モデル

Ver : sr0410

リリース日 : 2019 年 05 月 10 日

### 対象製品

- ・ f ファミリ SP モデル

### 機能追加点

- ・ 無し

### 修正点

- ・ タグメモリへのアクセスコマンド（Read Type C Tag Memory、Write Type C Tag Memory、Kill Type C Tag、Lock Type C Tag 等）において、エラー処理を修正

### 申し送り

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません（不定値）。

### レガシーバージョンとのプロトコル互換性

- ・ 互換性あり(sp0xxx 用に開発された制御ソフトウェアで動作可能です)

### 対応プロトコル仕様書

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 4.2.3
-

---

## リリースノート: f ファミリ SP モデル

Ver : sr0409

リリース日 : 2019 年 03 月 19 日

### 対象製品

- ・ f ファミリ SP モデル

### 機能追加点

- ・ 筐体シリアルを追加。

### 修正点

- ・ 無し

### 申し送り

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません（不定値）。

### レガシーバージョンとのプロトコル互換性

- ・ 互換性あり(sp0xxx 用に開発された制御ソフトウェアで動作可能です)

### 対応プロトコル仕様書

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 4.2.3
-

---

# リリースノート: f ファミリ SP モデル

Ver : sr0408

リリース日 : 2019 年 2 月 20 日

## 対象製品

- ・ f ファミリ SP モデル

## 機能追加点

- ・ 無し

## 修正点

- ・ Read Type C Tag ID Multiple で TID 設定時に停止できない(Stop Read Type C Tag ID Multiple が有効にならない) 問題を修正
- ・ 初期化処理を修正

## 申し送り

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません（不定値）。

## レガシーバージョンとのプロトコル互換性

- ・ 互換性あり(sp0xxx 用に開発された制御ソフトウェアで動作可能です)

## 対応プロトコル仕様書

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 4.2.1
-

---

## リリースノート: f ファミリ SP モデル

Ver : sr0407

リリース日 : 2018 年 12 月 5 日

### 対象製品

- ・ f ファミリ SP モデル

### 機能追加点

- ・ 無し

### 修正点

- ・ Write コマンド、BlockWrite コマンドの処理を修正

### 申し送り

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません（不定値）。

### レガシーバージョンとのプロトコル互換性

- ・ 互換性あり(sp0xxx 用に開発された制御ソフトウェアで動作可能です)

### 対応プロトコル仕様書

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 4.2.1
-

---

## リリースノート: f ファミリ SP モデル

Ver : sr0406

リリース日 : 2018 年 3 月 22 日

### 対象製品

- ・ f ファミリ SP モデル

### 機能追加点

- ・ 無し

### 修正点

- ・ Write コマンドに受信タイミングフラグを追加
- ・ Write コマンドのエラー応答を修正  
(タグからのエラー応答を取得 0x21 : メモリオーバーラン、0x23 : 電力不足)

### 申し送り

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません (不定値)。

### レガシーバージョンとのプロトコル互換性

- ・ 互換性あり(sp0xxx 用に開発された制御ソフトウェアで動作可能です)

### 対応プロトコル仕様書

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 4.2.1
-

---

## リリースノート: f ファミリ SP モデル

Ver : sr0405

リリース日 : 2018 年 2 月 28 日

### 対象製品

- ・ f ファミリ SP モデル

### 機能追加点

- ・ 無し

### 修正点

- ・ Write コマンドの処理を修正 (受信タイミングを修正)
- ・ ベリファイフラグ (ON2) に対応 (タグからの応答が成功の場合に正しく書き込まれているか照合します。タグからの応答が失敗の場合は、失敗のレスポンスを返し照合は行いません)

### 申し送り

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません (不定値)。

### レガシーバージョンとのプロトコル互換性

- ・ 互換性あり(sp0xxx 用に開発された制御ソフトウェアで動作可能です)

### 対応プロトコル仕様書

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 4.1.0
-

---

# リリースノート: f ファミリ SP モデル

Ver : sr0404

リリース日 : 2017 年 12 月 21 日

## 対象製品

- ・ f ファミリ SP モデル

## 機能追加点

- ・ 無し

## 修正点

- ・ ロック状態のタグにライトした時の処理を修正  
ロック状態のタグにライト (ベリファイ OFF 設定時) した時は、エラー応答が以下になります。  
修正前 : 0x10(RFID タグのメモリ書き込み失敗)  
修正後 : 0x13(RFID タグのロックに失敗または、RFID タグのメモリがロックされている)
- ・ Kill コマンドの処理を修正  
(誤った Kill パスワード設定時でも成功応答を返す問題を修正)

## 申し送り

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません (不定値)。

## レガシーバージョンとのプロトコル互換性

- ・ 互換性あり(sp0xxx 用に開発された制御ソフトウェアで動作可能です)

## 対応プロトコル仕様書

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 4.1.0
-

---

## リリースノート: f ファミリ SP モデル

Ver : sr0403

リリース日 : 2017 年 11 月 1 日

### 対象製品

- ・ f ファミリ SP モデル

### 機能追加点

- ・ 無し

### 修正点

- ・ Session 設定の問題を修正
- ・ ベリファイフラグの問題を修正
- ・ 電源状態による動作異常時のリセット処理を修正

### 申し送り

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません（不定値）。

### レガシーバージョンとのプロトコル互換性

- ・ 互換性あり(sp0xxx 用に開発された制御ソフトウェアで動作可能です)

### 対応プロトコル仕様書

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 4.1.0
-

---

## リリースノート: f ファミリ SP モデル

Ver : sr0402

リリース日 : 2017 年 04 月 27 日

### 対象製品

- ・ f ファミリ SP モデル

### 機能追加点

- ・ 無し

### 修正点

- ・ 設定値 Q 値が"0"の時に性能が低下する問題を修正

### 申し送り

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません（不定値）。

### レガシーバージョンとのプロトコル互換性

- ・ 互換性あり(sp0xxx 用に開発された制御ソフトウェアで動作可能です)

### 対応プロトコル仕様書

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 4.1.0
-

---

## リリースノート: f ファミリ SP モデル

Ver : sr0401

リリース日 : 2016 年 05 月 20 日

### 対象製品

- ・ f ファミリ SP モデル

### 機能追加点

- ・ 無し

### 修正点

- ・ Read Type C Tag ID Single、Read Type C Tag ID Multiple において、TID の複数枚読み取りに対応
- ・ タグメモリへのアクセスコマンド（Read Type C Tag Memory、Write Type C Tag Memory、Kill Type C Tag、Lock Type C Tag 等）において、対象となる RFID タグの TID を指定しても有効にならない問題を修正
- ・ タグメモリライト（Write Type C Tag Memory）において、特定のタグで成功率が低下する問題を修正

### 申し送り

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません（不定値）。

### レガシーバージョンとのプロトコル互換性

- ・ 互換性あり(sp0xxx 用に開発された制御ソフトウェアで動作可能です)

### 対応プロトコル仕様書

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 4.1.0
-

---

## リリースノート： f ファミリ SP モデル

Ver : sr0400

リリース日：2015年07月10日

### 対象製品

- ・ f ファミリ SP モデル
- ※本リリースノートから URW-SP3、URW-SP4/f ファミリ(100mW)用(sp0xxx)と PRM92JXXCE/f ファミリ 200mW 用(sr0xxx)を統合致しました。

### 機能追加点

- ・ 無し

### 修正点

- ・ 改訂版の URW-SP3、URW-SP4 へ対応。  
※改訂版につきましては別紙「製品変更通知」をご覧ください。
- ・ URW-SP3 と URW-SP4 の FW バージョン名が sp0xxx から sr0xxx へ変更になりました。
- ・ Set Tx Power の URW-SP3、URW-SP4 について分解能が 0.5 刻みになりました。
- ・ Set Tx Power の設定範囲が一部変更になりました。  
→URW-SP3 は 5～15 が 0～15  
→URW-SP4 は 5～20 が 0～20
- ・ Get Reader Information の製品タイプを取得した場合の値が変更しました。  
→URW-SP3 は PR9000SP3 から PR9200SP3  
→URW-SP4 は PR9000SP4 から PR9200SP4
- ・ URW-SP3、URW-SP4、URW-SP6 では周波数 38(923.4MHz)を設定しても 37(923.2MHz)として動作します。

### 申し送り

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません（不定値）。
- ・ 各メモリアクセスコマンドの ID 指定において TID を用いると、異なるタグのメモリをアクセスする場合があります。

### レガシーバージョンとのプロトコル互換性

- ・ 互換性あり(sp0xxx 用に開発された制御ソフトウェアで動作可能です)

### 対応プロトコル仕様書

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 4.0.0
-

---

—以下リリースバージョンは、ソーバル株式会社でリリースされたものとなります。—  
URW-SP3、URW-SP4 は f ファミリ(100mW)用のリリースノート  
(<https://artfinex.co.jp/uhf-info/>)をご確認ください。

リリースノート： PRM92JXXCE/f ファミリ 200mW 用  
Ver : sr0302

リリース日：2015年05月21日

**対象製品**

- ・ PRM92J30CE-S
- ・ UP-200f-J2、UPen-200f-J2、UCS-200f-J2、UT-200f-J2
- ・

**機能追加点**

- ・ 無し
- ・

**修正点**

- ・ メモリリードにて、指定した桁数とは違う桁数のデータを取得してしまう問題の修正

**申し送り**

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません（不定値）。
- ・ 各メモリアクセスコマンドの ID 指定において TID を用いると、異なるタグのメモリをアクセスする場合があります。

**レガシーバージョンとの互換性**

- ・ 互換性あり

**対応プロトコル仕様書**

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 3.0.0
-

---

## リリースノート： PRM92JXXCE/f ファミリ 200mW 用

Ver : sr0301

リリース日 : 2015 年 04 月 15 日

### 対象製品

- ・ PRM92J30CE-S
- ・ UP-200f-J2、UPen-200f-J2、UCS-200f-J2、UT-200f-J2

### 機能追加点

- ・ 無し

### 修正点

- ・ Get Backscattering Link Frequency (メッセージ区分 : 0x52) を削除
- ・ Set Backscattering Link Frequency (メッセージ区分 : 0xBF) を削除
- ・ Get Modulation Depth (メッセージ区分 : 0x90) を削除
- ・ Set Modulation Depth (メッセージ区分 : 0xBC) を削除
- ・ ホッピングパターンを有効から固定に変更したとき、前回有効時の設定範囲外を設定するとエラーを返してしまう問題を修正
- ・ Tx Power を取得したさいの DA と Offset が廃止となったため、該当箇所は必ず 0x00 を返すように変更
- ・ タグ ID 指定にてメモリアクセスした際に、異なるタグのメモリアクセスする可能性がある問題の修正
- ・ Scan RSSI(メッセージ区分 : 0xC6)コマンド発行後、最適な周波数に変更されていなかった問題の修正

### 申し送り

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません (不定値)。
- ・ 各メモリアクセスコマンドの ID 指定において TID を用いると、異なるタグのメモリアクセスする場合があります。

### レガシーバージョンとの互換性

- ・ 互換性あり

### 対応プロトコル仕様書

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 3.0.0
-

---

## リリースノート： PRM92JXXCE/f ファミリ 200mW 用

Ver : sr0203

リリース日 : 2014 年 12 月 10 日

### 対象製品

- ・ PRM92JXXCE-S
- ・ f ファミリ(200mW) : UP-200f-J2、UPen-200f-J2、UCS-200f-J2、UT-200f-J2

### 機能追加点

- ・ Set Power Down (メッセージ区分 : 0x01) コマンドの追加

### 修正点

- ・ 無し

### 申し送り

- ・ sr0103 以前から sr0106 以降にアップデートすると送信出力の設定値が変わることがあります。
- ・ sr0106 以前から sr0107 以降にアップデートした場合は、機器のシリアル番号は返しません (不定値)。

### レガシーバージョンとの互換性

- ・ 互換性あり

### 対応プロトコル仕様書

- ・ 「URW-SP プロトコル仕様書」 Rev 2.1.0
-